

デザイン型AI教育研究センターの概要

- ・2020年4月に設置(センター長:寺田賢治)
- ・「地域に寄り添い、
地域と学ぶAI・データサイエンス(DS)」を掲げる
→徳島、四国を足がかりにAI・DSの普及活動を推進

URL: <https://www.tokushima-u.ac.jp/ai/>

デザイン型AI教育研究センターの体制と取り組み

情報科学入門
統計・データサイエンス・AI

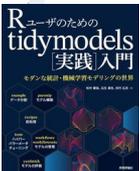
生手動かして学ぶ
AI
使い方の入門

数理・データサイエンス・AI教育
動画コンテンツの提供
書籍の執筆 リカレント教育

数理・データサイエンス・AI教育
プログラム認定制度
リテラシーレベル

AI勉強会 小中高生対象の講座等

AI研究開発部門 学生支援事業 AI社会実装部門



データサイエンス学修プログラム

全学的な数理・データサイエンス・AI教育の育成
・応用基礎レベル(申請中)

・「AI総合演習」…機械学習・深層学習の実践的な内容を扱う科目を新規開講(2023年～)

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点

コンソーシアム 四国ブロックに参画し、大学間での連携や情報発信を行っています。

研究プロジェクト

- ①人流ビッグデータを用いた個人の行動に基づく熱中症リスクの解明
- ②野生生物のインターネット取引を通じた影響評価

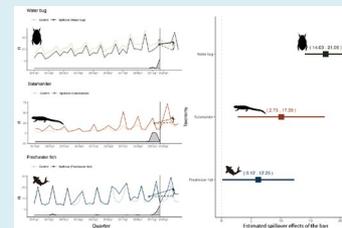
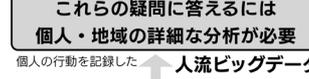
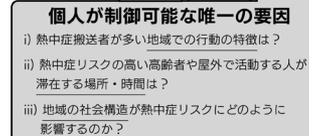
熱中症発生の3要因
環境 身体 行動

個人が制御可能な唯一の要因

- 熱中症搬送者が多い地域での行動の特徴は?
- 熱中症リスクの高い高齢者や屋外で活動する人が滞在する場所・時間は?
- 地域の社会構造が熱中症リスクにどのように影響するのか?

これらの疑問に答えるには
個人・地域の詳細な分析が必要

個人の行動を記録した人流ビッグデータを用いて問いに対する仮説を検証



分野:社会医学、看護学およびその関連分野 専門:衛生学および公衆衛生学分野関連:実験系を含まない

E-mail: uryu.shinya@tokushima-u.ac.jp Tel. 088-656-7185